

《第1回 ICDアワード受賞者活動報告》

第1回 ICDアワードを受賞いたしました

昭和大学大学院 歯学研究科 歯科薬理学講座



高橋 夏大

この度は第1回 ICDアワードを賜り、身に余る光栄に存じます。私は今年の3月に昭和大学歯学部を卒業し、4月から昭和大学歯科病院にて臨床研修医として勤務しながら社会人大学院生として昭和大学大学院にて勉学と研究に励んでおります。

今回受賞いたしましたICDアワードは、昨年私が第一著者である英語原著論文「Investigation of osteogenesis changes in medaka larvae reared in normal gravity, simulated-microgravity and hypergravity environments」が、日本宇宙生物科学会の国際誌Biological Sciences in Space (Vol. 35 pp. 24-31, 2021)に掲載され、国際歯科学士会日本部会の前会長であり昭和大学国際交流センター長の宮崎隆先生、昭和大学歯科薬理学講座教授の高見正道先生に推薦していただきました。

私は、大学2年次に「研究入門」の履修を機に研究に興味を抱き、4年次から大学院の講義や研究を先行して学べる「マルチドクタープログラム」を履修して約3年間歯科薬理学講座に通い、歯科薬理学講座の茶谷昌宏講師のご指導のもと自身の研究に取り組んでまいりました。論文の内容は、骨や歯などの硬組織形成において重力が担う役割を解明することを目的としたもので、遺伝子組換えメダカを様々な重力環境下で飼育し、硬組織形態やそれに関与する細胞に生じた変化を解析した研究です。重力のコントロールには、JAXAが開発した生体用遠心装置や微小重力装置を使用し、

その結果、骨形態および骨芽細胞、神経細胞の数に変化が生じました。脊椎動物における重力の重要性を知ることができました。

研究と学業との両立は容易ではありませんでしたが、研究成果を世界に発信できた喜びと達成感は何にも代え難いものでした。これも歯科薬理学講座の高見正道教授や、実験と論文執筆を直接ご指導くださった茶谷昌宏講師、推薦してくださった宮崎隆教授のおかげです。そして貴重なご助言をいただきました歯科薬理学講座および薬理科学研究センターの先生方に心より感謝申し上げます。今後は自身の研究をさらに発展すべく、歯科医療の発展と研究に邁進してまいります。



図1 推薦いただいた宮崎隆先生、高見正道先生と